JEASーCPD ガイドブック

平成 18 年　６月　１日
平成 20 年　４月　１日 改定
平成 21 年　４月　１日 改定
平成 23 年　12 月　８日 改定
平成 24 年　８月 20 日 改定
平成 27 年　８月 10 日 補足・修正
平成 29 年　８月 30 日 補足・修正
令和元年　　８月　１日 改訂・修正
　改訂・修正内容：①自己研修レポートの提出が必須
　　②CPD 形態と単位を明確化
令和２年　　８月 31 日 改訂・修正
　改訂・修正内容：①オンライン研修の追加
　　②関連団体の重み係数の変更
令和３年　　８月 10 日 修正
　　修正内容：①データ入力時の注意事項の追加

JEAS

一般社団法人　日本環境アセスメント協会

「資格・教育センター」

目　　次

１．JEAS－CPD 制度について …… 1
２．CPD 制度の概要 …… 2
（１）目的 …… 2
（２）対象者 …… 2
（３）制度の仕組み …… 2
（４）組織 …… 2
（５）CPD 記録の審査 …… 2
図-１「環境アセスメント士」認定資格制度と JEAS－CPD 制度 …… 3
３．CPD プログラム …… 4
（１）プログラムの内容 …… 4
（２）プログラムの対象教育分野 …… 4
（３）プログラムの形態 …… 5
（４）CPD 単位と重み係数（CPDF） …… 6
（５）CPD 単位の取得 …… 6
（６）JEAS-CPD プログラムの広報 …… 6
表－１　CPD プログラムの対象教育分野 …… 7
表－２　CPD 形態と CPD 単位の算定 …… 8
４．CPD の記録・登録 …… 9
（１）CPD 記録の登録申請から証明までの流れ …… 9
（２）CPD 登録者申請 …… 9
（３）CPD プログラムの選択と CPD の実施 …… 9
（４）CPD 記録の登録 …… 9
（５）CPD 記録の登録手続きと送付方法 …… 10
５．CPD の認定・証明 …… 10
（１）CPD 記録の認定 …… 10
（２）CPD 記録の登録・管理 …… 10
（３）CPD 記録の証明 …… 10
【様式資料】
≪JEAS-CPD 記録　記入例と注意事項≫ …… 11
自己研修、オンライン研修の CPD 記録レポート（記入例） …… 14
（様式－１）JEAS－CPD 登録者申請書 …… 15
（様式－２）JEAS－CPD 記録　登録申請書 …… 16
（様式－３）JEAS－CPD 記録登録簿（Excel シート） …… 17
（様式－４）JEAS－CPD 記録　登録証明書発行願い …… 18
（様式－５）JEAS－CPD 記録　登録証明書 …… 19
（様式－６）JEAS－CPD 届出事項変更届 …… 20

１．JEAS-CPD 制度について

環境アセスメントの多様化、高度化及び国際化が進展する中、環境アセスメント業務を行う実務者には、豊富な経験と高度な技術・技能レベルの保有とともに、高い社会的信頼性が求められています。

一般社団法人日本環境アセスメント協会（以下、「JEAS」と言う。）では、従来から環境アセスメントに関わる研修、研究及びセミナー等を開催し、人材の育成・拡大を図るとともに、平成 17 年度より、環境アセスメントに専門特化した「環境アセスメント士」認定資格制度を発足させました。

「環境アセスメント士」は、同制度の資格者として、常に社会環境の変化を把握し、新しい技術・知識を取得するとともに、保有する技術・技能レベルの維持・向上、倫理観の涵養等、いわゆる継続教育による自己啓発に努める必要があります。

環境アセスメント士は、環境省の「環境人材育成・認定等事業データベース」に登録されており、同じく環境省における「環境リスク調査融資促進利子補給金交付事業」の「専門技術者」に位置付けられています。

さらに、環境省における請負・委託業務の発注にあたっての環境アセスメント士の活用が進められているとともに、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定」（平成 26 年 国土交通省公示第 1107 号）に基づく『技術者資格（建設環境：調査：管理技術者）』に登録（平成 28 年２月、登録番号：品確技資第 110 号）されています。

また、地方公共団体が発注する業務においても環境アセスメント士の活用がみられるなど、益々環境アセスメント士の必要性が高くなっています。

社会資本の整備、維持、更新を適切に実施するためには、計画・調査・設計や維持管理における点検・診断等の品質確保が重要であり、これらの業務に携わる技術者の能力を評価した上で活用することが望まれています。

また、「環境アセスメント士」認定資格制度では、資格登録の有効期間は５年と定められ、資格の更新に際し、JEAS 所定の CPD 単位の取得を条件としています。

これらの状況を踏まえ、JEAS として「認定資格制度」に加え、「環境アセスメント士」の継続教育を支援して行くための「継続教育（CPD）制度」（以下、「JEAS-CPD 制度」という）を設けております。

本制度は、JEAS が実施する（共催を含む）研修、研究、セミナー等（以下、「JEAS-CPD プログラム」という）の他、「建設系 CPD 協議会 (注１)」加盟の各団体が行う CPD プログラム等と併せ、取得した CPD の登録・管理と認定・証明を行うことにより、「環境アセスメント士」の継続教育の支援を行うものであります。

「認定資格制度」と「JEAS-CPD 制度」が両輪となって、「環境アセスメント士」の適切な育成・支援を図り、環境アセスメントの信頼性の向上に貢献してまいります。

（注１）「建設系 CPD 協議会」：建設系分野に係わる技術者の能力の維持・向上を支援するため、関係学会および協会間での CPD（継続教育）の推進に係わる連絡や調整を図ることを目的として設立した団体。◆設立：平成 15 年７月　◆加盟団体（19 団体：令和元年６月現在）

http://cpd-ccesa.org/

２．JEAS－CPD 制度の概要

（１）目的

JEAS-CPD 制度は、CPD 実施者からの CPD 記録を登録・管理し、必要に応じ CPD 記録の認定・証明を行う制度です。本制度は、「環境アセスメント士」が新しい技術・知識の習得と保有する技術・技能レベルの維持・向上、倫理観の涵養等を図るために行う継続教育について、JEAS として支援して行くことを目的としています。

（２）対象者

「JEAS-CPD 制度」は、「環境アセスメント士」の試験に合格の後、資格登録をされた方を対象としています。

（３）制度の仕組み

JEAS-CPD 制度の仕組みは、次の通りです。

・「環境アセスメント士」の資格試験に合格し、新規に資格登録をされた方（毎年４月１日「登録証」発行）は、原則として当該の６月末までに CPD 登録者申請（様式－１）を出して頂きます。
・CPD 登録者は、「CPD 記録簿」（様式－３）に記録し、JEAS に「CPD 記録登録申請」（様式－２）と共に送付していただきます。
・JEAS は、申請された「CPD 記録簿」を登録・管理します。
・JEAS は、CPD 記録の認定を行い、資格更新時、あるいは必要な都度「CPD 記録登録証明書」発行願い（様式－４）にもとづき、CPD 登録証明書（様式－５）を発行します。

「JEAS-CPD 制度」と「認定資格制度」との関係は、**図－１**のとおりです。

（４）組織

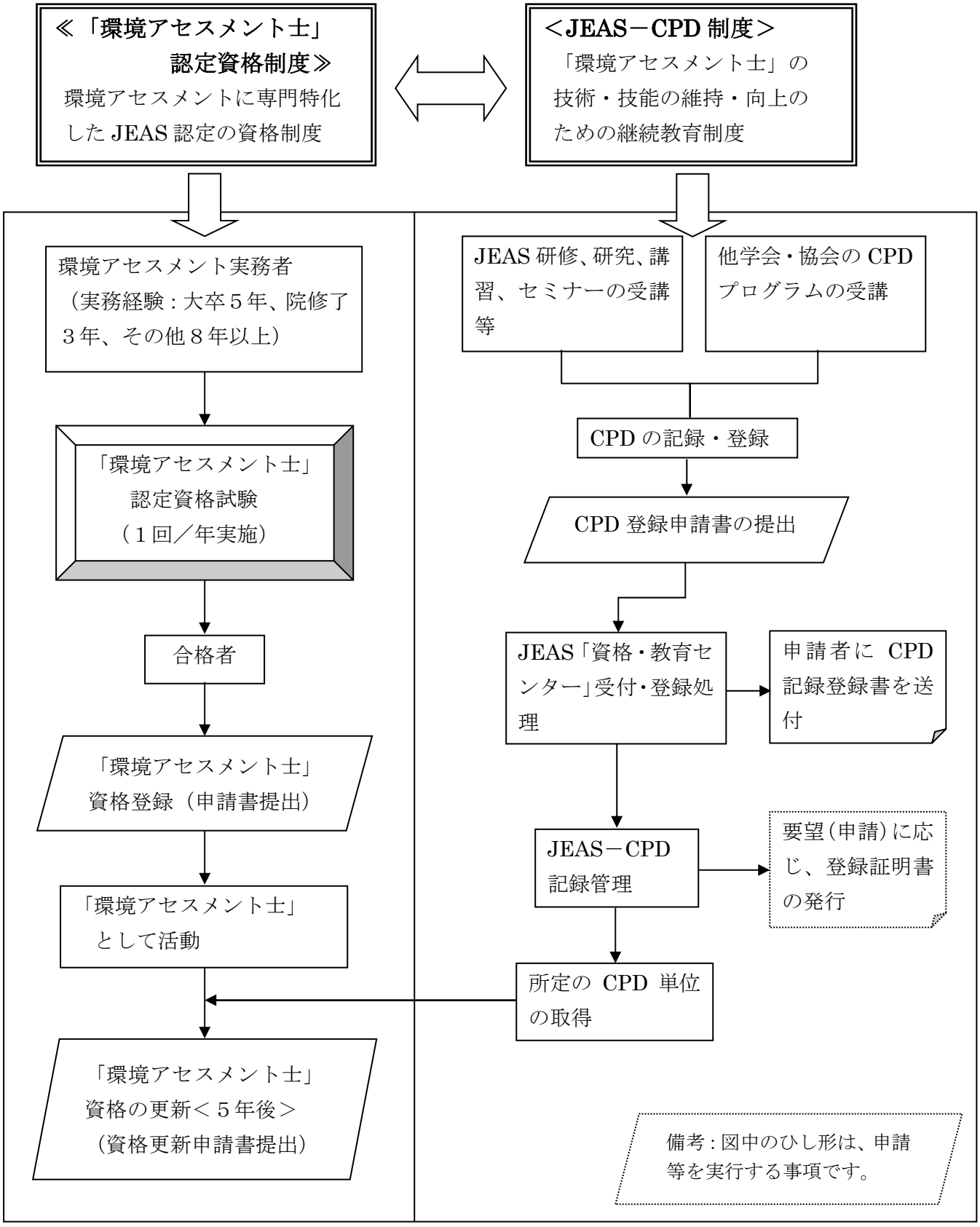
「JEAS-CPD 制度」の総合的な運用管理は、当協会の「資格・教育センター」が行います。また、「JEAS-CPD 制度」の方針・計画等については、「資格制度委員会」で検討・審議を行います。

登録申請をされた CPD 記録内容については、別途設けられた「CPD 審査会」において内容の審査が行われます。

（５）CPD 記録の審査

申請された CPD 記録は、「CPD 審査会」において審査がなされ、審査員から指摘された場合は、適宜に当該記録のエビデンス（形跡・根拠）の提出をしていただきます。

図－１　「環境アセスメント士」認定資格制度と JEAS－CPD 制度



３．CPD プログラム

CPD プログラムには、JEAS-CPD プログラム、建設系 CPD 協議会の提供するプログラム等があります。

（1）プログラムの内容

CPD プログラムは、原則として下記①～④に示すいずれかの内容に該当することを前提とします。

① 技術動向：新しい技術動向の理解に役立つ内容

・ 環境アセスメントの専門分野における最新の知識・技術、実践事例等
・ 環境アセスメントに関連する広範な技術分野に関わる新技術・新情報等

② 社会性：環境アセスメント士を取り巻く状況の理解に役立つ内容

・ 環境アセスメントの位置付け、社会環境の変化との関連に対する理解を深められる内容等
・ 環境アセスメントの信頼性の向上と環境アセスメント士の役割、合意形成等の理解を深められる内容等

③ 総合性：環境アセスメント士を取り巻く関連分野の理解に役立つ内容

・ 環境アセスメント士に必要とされる関連分野の基礎知識、技術、考え方等
・ 環境アセスメント士として、総合的な見識を養うなど環境アセスメント士の育成に資する内容等

④ 倫理性：環境アセスメント士としての倫理観の涵養に役立つ内容

・ 環境アセスメント士として、自から判断し、行動できる倫理能力の涵養に資する内容等
・ 倫理全般を対象に、環境アセスメント士として保有すべき事項に関わる内容等

（2）プログラムの対象教育分野

CPD プログラムの対象教育分野は、次の３つに大分類されます。

I. 共通分野：環境全般及び共通一般の基礎的な技術に関する事項
II. 専門技術分野：環境アセスメント士として必要な専門技術に関する事項
III. 関連技術分野：環境アセスメントに関連する技術に関する事項

上記大分類項目をさらに小分類化し、それぞれの小分類項目にアルファベット番号を付けてあります。プログラムの対象教育分野の細目は、表－１のとおりです。

（3）プログラムの形態

CPD プログラムの形態は、下記①～⑦に示す内容のものとします。

CPD 実施者は、ここに挙げた CPD プログラム形態の中から、各自の継続教育として適したものを選択するものとします。

① 講習会等での受講

・ JEAS、関係学会及び協会（学術団体、公益法人を含む）、大学等、民間団体及び企業が公式に開催する講習会、研修会での受講、講演会、シンポジウムでの聴講、及び現場見学会等への参加

・上記団体などによる、**オンラインでの講習会、研修会などへの参加**。

オンラインでの受講の場合、受講証明書又は、受講レポートの提出が必要。

なお、**JEAS 主催・共催、又は環境アセスメント学会、並びに環境アセスメント士会主催の講習会等は、重み係数（CPDF）を「２」とする。**

② 論文等の発表

・ 学会及び協会、民間団体、企業等が開催する技術発表会、講演会、研究会、シンポジウム等での口頭発表

・ 学会及び協会、民間団体、企業等が発行する学術誌、技術誌等への論文・報文の発表

・ 技術図書や技術資料の執筆で、その成果が示されるもの

③ 企業内研修及び OJT

・ 企業内での研修会でプログラムの計画が明確なもの

・ 企業内の OJT で目的及び実施方法が明確で、その成果が示されるもの

※ 企業内 OJT の申請は、**１年間で２件**までとする

④ 技術指導

・ 学会及び協会、大学、民間団体、企業等が開催する研修会、講習会等の講師

・ 企業内で行われる講習会等の講師

・ 学会及び協会の依頼による論文等の査読

⑤ 業務経験

・ 優れた技術的成果を上げて、学会及び協会、公共団体、民間団体、企業等から表彰を受けた業務等

・ 技術的成果を上げて、所属長が優れた成果と認めた業務等（**１年間で２件**までとする）

・ 特許を取得したもの（発明者に限る）

⑥ 委員会等への参加

・ 政府機関等の審議会・研究会等の委員、学会及び協会等の役員、委員等への参加

・ 大学、研究機関（企業を含む）等における研究開発、技術開発、研究調査等への参加

・ 国際機関、国際協力機構（JICA）等における国際的な技術協力への参加

・環境アセスメント士会の会合などへの参加

・環境関連等の地域活動への参加、及び社会的貢献として認められるもの

地域活動への参加は、環境関連活動を行った場合のみと致します。自治体活動、町内会活動、学校行事への参加などは、認めません。

⑦　その他

・政府機関等の認定あるいは承認する公的な技術資格の取得

・学会誌の購読、研究論文・技術資料の精読等による自己研修で、成果が示されるもの
eラーニングやビデオセミナー等も、自己研修として認めます。
自己研修の登録には、必ず研修レポートの提出をお願い致します。
専門誌などを読んだ場合は、日時、総ページ数を入力して下さい。
◇研修レポートの作成例はP12を参照して下さい。
◆専門誌などの年間購読時間での登録は出来ません。
登録簿の備考欄にプログラムの対象教育分野の記号（A～S）を入力して下さい。

・上記以外で環境アセスメント士のCPDに値すると協会が認めるもの

※　上記CPD形態の一覧は、**表－２**のとおりです。

◆　記入時の注意事項

①　様式－３記録簿（EXCELシート）では、**同一日の入力は、同一シート内で行って下さい。シートが分かれての同一日は、入力出来ません。**

②　**"CPDの内容"については、○○セミナーに参加等では、内容を満たしておりません。セミナー等で「何を学ばれたのか」、「何について知見を深めたのか」の概要を簡潔に（150文字以内）で記入して下さい。**

（４）CPD単位と重み係数（CPDF）

・CPDの実施状況は、CPD単位により判定します。

・CPD単位の算定は、CPD形態により、実際に費やした時間数、日数、件数、編数等にCPDの内容に応じた「重み係数（CPDF)」を掛けて算定することを基本とします。
取得CPD＝CPD単位×重み係数（CPDF）

・CPDの形態と単位算定方法は、**表－２**を参照して下さい。

○　CPD単位の入力は、小数点第１位までとして下さい。
（小数点第2以下は、四捨五入して下さい）

（５）CPD単位の取得

・環境アセスメント士が資格更新の際に必要とするCPD単位数は、別途「資格更新の手引き」をご覧下さい。

・CPD単位は、年間50単位を標準としますが、更新期間までの５年の間、CPD単位の取得は極力偏ることなく、恒常的に取得して下さい。

・取得CPD単位は、原則として毎年度末（３月末）までに記録・登録手続きを行って頂きます。**５年分をまとめて登録するのではなく、なるべく年度単位での登録をお願い致します**。

（６）JEAS-CPDプログラムの広報

・JEAS-CPDプログラムについては、その名称、開催日時、開催場所及び内容等を予めJEASのホームページ、JEAS　News等により広報・周知します。

表－１　CPD プログラムの対象教育分野

教育分野		内　容	記号
I. 共通分野 （記録簿では“１”と入力）	環境全般	地球環境、地域・都市環境、生活環境、自然環境、循環型社会、環境工学、環境関連法令・条例要綱、環境関連指針・基準、国際的条約等	A
	一般科学	数学、物理、化学、地理学、地質学、水文・水象、気象、生物学、生態学、統計学、情報科学等	B
	教養	語学、歴史、文化等	C
	倫理	倫理規定、専門家倫理等	D
	管理技術	プロジェクトマネジメント、品質保証、コスト管理、労務管理、工程管理、安全管理、環境マネジメント、企業の社会的責任、契約・仕様書、見積積算等	E
	環境アセスメント制度･手続き･図書作成	法・条例、技術基準、手続き、公告・縦覧、説明会、審査会、図書作成（方法書、準備書、評価書、事後調査報告書）等	F
II. 専門技術分野 （記録簿では“２”と入力）	生活環境分野（調査・予測・評価・環境保全措置・事後調査に係る技術）	大気環境（大気質、騒音、振動、悪臭等）	G
		水環境（水質、底質、地下水等）	H
		土壌・地盤環境（地形・地質、土壌、地盤等）	I
		環境負荷（温室効果ガス、廃棄物等）	J
		その他（日照阻害、電波障害、風害等）	K
	自然環境分野（調査・予測・評価・環境保全措置・事後調査に係る技術）	動物・植物（陸水域・海域）	L
		生態系（陸水域・海域）	M
		人と自然との豊かなふれあい（景観、人と自然とのふれあい活動の場等）	N
III. 関連技術分野 （記録簿では“３”と入力）	コミュニケーション・情報技術	プレゼンテーション、リスクコミュニケーション、合意形成、地理情報システム、画像処理、コンピューターグラフィクス、プログラミング等	O
	環境調査･測定･分析・予測・評価技術	調査、測定、分析、計量、数値解析、シミュレーション、スクアセスメント、ライフサイクルアセスメント、環境の経済的評価手法等	P
	環境計画技術	環境基本計画、循環型社会基本計画、各種環境計画、環境管理計画、景観計画等	Q
	環境保全・再生技術	自然再生・修復、ランドスケープ、環境配慮型設計等	R
	施工・計画技術	計画、設計、施工等	S

表－２　CPD 形態と CPD 単位の算定

CPD 形態	番号	内　　容	CPD 単位	重み係数（CPDF）
①講習会等での受講	1	講習会、研修会での受講（**オンライン研修を含む。オンラインの場合は、受講証明書（コピー）、又はレポートの提出が必須**）	H（時間数）	1（注１）
	2	講演会、シンポジウムでの聴講		
	3	現場見学会等への参加	D（日数）	5
②論文等の発表	4	口頭発表（JEAS の業務に係るもの）	M（分数）	0.4
	5	口頭発表（上記以外）	M（分数）	0.2
	6	論文発表（査読付き）	編数	40（注２）
	7	論文発表（一般、総説等）	編数	10（注３）
	8	技術図書の執筆（成果が示されるもの）	N(ページ数)	1
③企業内研修及び OJT	9	企業内での技術研修会（プログラムが明確なもの）	H（時間数）	1
	10	OJT（実施方法が明確で成果が示されるもの） （年間２件まで登録可）	件数（注４）	10
④技術指導	11	講習会等の講師	H（時間数）	3
	12	社内講習会等の講師	H（時間数）	2
	13	学会及び協会が依頼した論文等の査読	編数	20
⑤業務経験	14	学会及び協会や発注者の表彰を受けた業務等	件数	20
	15	所属長が優れた成果と認めた業務等 **（年間２件まで登録可）**	件数（注４）	10
	16	特許取得（発明者に限る）	件数	40
⑥委員会等への参加（注６）	17	委員会等出席（議長・委員長の場合）	H（時間数）	2
	18	委員会等出席（委員・幹事の場合）	H（時間数）	1
	19	研究調査等への参加	件数	20
	20	国際的な技術協力への参加	件数	20
	21	地域活動（環境関連）への参加、及び社会的貢献	件数	10（注５）
	22	環境アセスメント士会への参加	H（時間数）	2
⑦その他	23	技術資格の取得	資格数	20
	24	**自己研修（自己研修レポートの提出が必須）** 学会誌、専門誌等で成果が示されるもの eラーニングやビデオセミナー等も含む	H（時間数）	0.5
	25	上記以外で協会が認めるもの	－	適宜判断

（注１）当協会主催・共催、及び環境アセスメント学会、並びに環境アセスメント士会主催の講習会等受講は“2”とする。

（注２）連名または共著の場合は、“20”とする。

（注３）連名または共著の場合は、“5”とする。

（注４）１年間に申請できる件数は“2”とする。

（注５）地域活動は、環境関連を含まない町内会活動等は認めません。

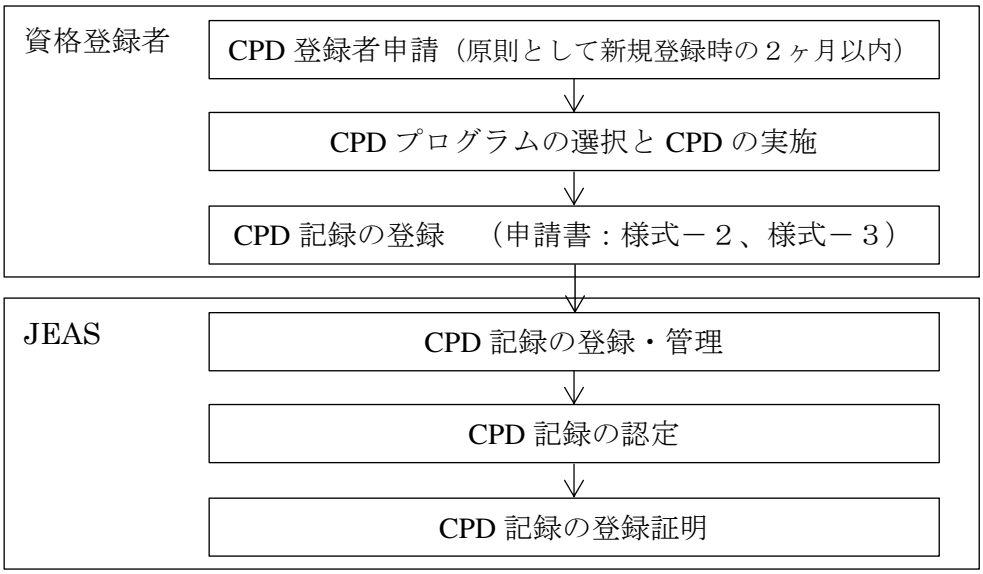
（注６）**委員会は、オンラインによる参加又は資料の配布などによる意見交換活動も認めます。ただし、CPD 登録の場合は、レポートの提出が必須です。**

◎CPD 単位の記入にあたっては、日数については 0.5 日単位、時間数については 0.5 時間単位とし、CPD 単位の入力は、小数点第１位までとして下さい（小数点第 2 以下は、四捨五入して下さい）。

４．CPD の記録、登録

（１）CPD 記録の登録申請から証明までの流れ

CPD 記録の登録申請、認定、登録管理等は、以下に示す流れで実施します。



（２）CPD 登録者申請

CPD の実施記録を登録するには、登録の意思確認の為、「CPD 登録者申請」の提出をお願いしております。**「JEAS-CPD 登録者申請書」（様式－１）**に記入しご提出ください。

（初回登録時のみ、更新登録時は提出不要です）

（３）CPD プログラムの選択と CPD の実施

- CPD 登録者は、CPD を実施するに当たり、「JEAS-CPD プログラム」、または建設系 CPD 協議会のプログラムの中から、適切なものを選び、CPD を実施して頂きます。
- CPD プログラムの選択に当たっては、対象教育分野があまり偏らないように、心がけてください。

（４）CPD 記録の登録

【登録時の送付資料】

①「JEAS-CPD 記録　登録申請書」（様式－２）

②「JEAS-CPD 記録　登録簿」（様式－３＜Excel ｼｰﾄ＞）

③ 登録内容に、自己研修、オンライン研修などが含まれる場合は、レポートの添付が必要です。

○ 登録申請時には、エビデンス（形跡・根拠）の提出（添付）は不要ですが、受講証明書などは、後日提出していただくことがありますので、各自で保管して下さい。

※ CPD 審査会において、エビデンスの提出を求められることがあります。
提出の連絡を受けた場合は、速やかに提出をお願い致します。
提出が２週間以上遅れた場合、また提出がない場合は、登録された CPD 記録は削除致します。

（５）CPD 記録の登録手続きと送付方法

・JEAS-CPD 登録に関する申請書等（様式－１～４、６）は、JEAS のホームページからダウンロードできます。　http://www.jeas.org〈環境アセスメント士認定資格〉

・手続き申請のうち、JEAS－CPD 登録者申請書（様式－１）は、資格登録後に速やかにお送り下さい。（郵送又はメールに添付（PDF 形式）でお送り下さい。

・「JEAS-CPD 記録登録簿（様式－３）」については、ダウンロードした Excel ファイルに CPD 実施記録を入力して頂き、ある程度まとまった段階で、JEAS 宛てにお送り下さい。出来るだけ、**単年度ごとの提出**をお願い致します。

◆数年分のまとまった登録はチェックに時間がかかるので、出来るだけ避けて下さい。

・送っていただく方法は、Excel データ（様式－３）を指定のメールアドレスに添付ファイルとしてお送り下さい。お送りいただく場合は、CPD 記録であることと、お名前を明記して下さい。

送付先メールアドレス　：　jeas-cpd@jeas.org

・上記の Excel データと共に、JEAS-CPD 登録申請書（様式－２）もお送り下さい。
（自己研修、オンライン研修などのある方は、レポートも添付）

・登録が完了致しましたら、登録状況表と取得状況確認書をお送り致します。
取得状況確認書は、資格更新の際にご利用下さい。

５．CPD の認定・証明

（１）CPD 記録の認定

・申請者が記録・登録した「CPD 記録登録簿」データにもとづき、申請者の CPD 実施を JEAS として審査し、適切な場合 CPD 記録として認定します。

・申請された CPD の内容、CPD 単位等の審査に当たり、必要に応じて CPD の実施を証明する書類の提出や、申請者への確認、問い合わせを行うことがあります。

（２）CPD 記録の登録・管理

・JEAS は、CPD 登録者が申請した CPD 記録のうち、認定された CPD を登録し、その管理を行います。

・登録された CPD 記録は、５年間の記録を保管します。

（３）CPD 記録の証明

・入札等に絡み、CPD 記録登録証明書が必要な場合は、**「JEAS-CPD 記録　登録証明書発行願い」（様式－４）**を提出してください。（資格更新時は必要ありません）

・上記発行願いにもとづき、JEAS が**「JEAS-CPD 記録　登録証明書」（様式－５）**を発行します。

・登録証明書の発行手数料は、1 部 1,000 円（税込）です。
発行手数料の支払い方法は、郵便振込用紙を同封いたしますので、速やかな振込をお願い致します。

以　上

※この様式は、必要に応じコピーして下さい。

（様式―3）

JEAS-CPD記録登録簿

【入力における注意事項】

記入年月	年(西暦)	月	
	2015	4	～
	2016	3	まで

年は全て西暦で入力

氏名は左詰めで、氏と名の間は1文字空けて下さい

氏名：環境　アセス

「環境アセスメント士」登録番号：H2710123

（ 1 / 1 枚）

教育分野1～3を入力 ↓　↓CPD形態1～7を入力

No.	CPD名称	主催者等	開始年月日 / 終了年月日 年(西暦)	月	日	時間	CPDの内容	実時間 ①	重み係数 ②	CPD時間 ①×②	CPD時間累計	教育分野 Ⅰ～Ⅲ	CPD形態 ①～⑦	備考
1	公開セミナー	JEAS	2015	6	10	3	改定された「騒音・振動規制法」に関する事例研究発表。改訂内容を理解した。	3	2	6	6	1	1	
			2015	6	10									
2	一般公開シンポジウム	環境省	2015	6	30	3	「気候変動による影響」の講演と、「温暖化への対応策」についての発表を聞く。今後の施策への理解を深めた。	3	1	3	9	1	1	
			2015	6	30									
3	企業内研修	技術研究発表会	2015	8	31	4	土壌汚染調査手法に関する研究発表。○○手法の理解を深める。	4	1	4	13	2	3	
			2015	8	31									
4	環境アセスメント学会誌購読	自己研修	2015	10	10	2	環境アセスメント学入門(10P～94p)熟読(自己研修レポート番号01)	2	0.5	1	14	3	7	分野P
			2015	10	10									
5	業務経験(所属長が認めた成果)	自社	2015	4	10	1件	廃棄物処理場建設業務における事後報告書の作成。輸送経路の事後調査内容について成果が認められた。。	1	10	10	24	2	5	
			2015	10	30									
6	技術士資格取得	日本技術士会	2016	3	4	1	技術士試験合格(建設環境部門)	1	20	20	44	2	7	
			2016	3	4									
7	委員会参加	環境アセスメント士会	2016	3	20	1.5	今後の活動計画についてオンライン協議。(オンラインレポート番号02)	1.5	2	3	47	1	6	
			2016	3	20									
8						↑少数第1位まで					47			
9	30文字以内で入力	20文字以内で入力	終了年月日も入力				150文字以内で入力				47			
10											47			

1ページの入力件数は10件まで。10件以上は、シートを変えて入力。

↑少数第1位まで

自己研修の場合は、対象教育分野を入力(表―1参照)

教育分野別のCPD時間累計

Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	合計	
12.0	34.0	1.0	47.0	←このシートの合計

形態区分別のCPD時間数累計

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計	
9.0	0.0	4.0	0.0	10.0	3.0	21.0	47.0	←このシートの合計

◎ データ入力時の注意事項

① Excel シートへの入力は、所定の文字数以内で行って下さい。
- CPD 名称（30 文字以内）
- 主催者等（20 文字以内）
- **CPD 内容（150 文字以内）：内容は、〇〇セミナー受講だけでは認めません。セミナー等に参加されたことにより、何を学ばれたのか、どのような知見を深めたのかなどを簡潔に（150 文字以内）で記入して下さい。**

② Excel シートの変更禁止。
CPD 記録登録システムは、ACCESS で作成しており、Excel シートを読み込んでいます。変更されますと、データが読み取れません。変更しないようにお願いします。

③ 特殊記号（I,IIや&など）は、使用しないで下さい。（ACCESS で使用できません）

④ 同一日の複数の入力は、同一シート内に入力して下さい。
他シートで入力すると、入力エラーとなります。（“既に登録されている日がある”となり登録できません。）

⑤ **同じ日であっても、開始年月日、終了年月日は必ず入力して下さい。**

⑥ **数値は、少数第１位までの入力として下さい。（第 2 位を四捨五入）**

⑦ **教育分野は、１，２，３の数字で入力して下さい。**

⑧ **CPD 形態は、１，２，３，４，５，６，７の数字で入力して下さい。**

⑨ **１シートには、10 件まで入力できます。10 件を超えた場合は、別シートに変えて下さい。**

⑩ 下段の累計値は、シート毎に一致させて下さい。

◎ **自己研修の CPD 記録レポート（記入例）　＊　提出は必須です。**
提出の、様式３データ（Excel ｼｰﾄ）と、共にレポート添付をお願い致します。

書式は、自由ですが概ね以下の内容をまとめて下さい。

自己研修　ＣＰＤ記録レポート

レポート通番　R01－００１

レポート作成日：2020.8.1

（１）　作成者　　環境　アセス

（２）　登録番号　　Ｈ１７１２９９９

（３）　研修年月日　　２０２０年８月１日（土）

（４）　時　　間　　１３時３０分　から　１５時３０分まで（２．０時間）

（５）　件　　名（又は書籍名）

①　環境アセスメント学会誌（環境アセスメント学入門）

②　読んだページ数　　10Ｐ　～　94Ｐ

③　プログラムの対象教育分野記号（表―１参照）　　Ｐ

（６）　要　　約（サマリー）

①　環境アセスメントの制度、流れを確認

②　環境アセスメント図書の作成について再認識

③　地方公共団体、諸外国の制度について再確認

④　・・・・・・

（７）　感　想

環境アセスメントについて、基本法の趣旨を再認識。

知見の認識が欠けていた内容について、確認ができた。

以上

◎ **オンライン研修の CPD 記録レポート（記入例）　　＊　提出は必須です。**
提出の、様式３データ（Excel ｼｰﾄ）と、共にレポート添付をお願い致します

書式は、自由ですが概ね以下の内容をまとめて下さい。

オンライン研修　ＣＰＤ記録レポート

レポート通番　R01－００２

（資料による研修参加も同様）

レポート作成日：2020.7.31

（１）　作成者　　環境　アセス

（２）　登録番号　　Ｈ１７１２９９９

（３）　研修年月日　　２０２０年7月３１日（金）

（４）　時　　間　　１３時３０分　から　１５時３０分まで（２．０時間）

（５）　件　　名（又は資料名）

①　オンライン環境アセスメント学入門

②　受講した時間　　10 時 30 分　～　11 時 30 分

③　プログラムの対象教育分野記号（表―１参照）　　Ｐ

（６）　要　　約（サマリー）

①　環境アセスメントの制度、流れを確認

②　環境アセスメント図書の作成について再認識

③　地方公共団体、諸外国の制度について再確認

④　・・・・・・

（７）　感　想

環境アセスメントについて、基本法の趣旨を再認識。

知見の認識が欠けていた内容について、確認ができた。

以上

（様式－１）

JEAS-CPD 登録者申請書

一般社団法人
日本環境アセスメント協会　会　長 殿

私は、JEAS-CPD の登録者申請を行います。

ふりがな 氏　　名	
生年月日	（西暦）　　年　　月　　日　生
登録資格	「環境アセスメント士」 登録番号：　　部　門： 登録期間：(西暦)　　年　月　日～　　年　月　日
住　　所	〒 (電話番号)
所 属 先	名称 所在地 (電話番号)
メールアドレス	

(西暦)　　年　　月　　日

署名（自筆）：

（様式－２）

JEAS-CPD 記録　登録申請書

一般社団法人
日本環境アセスメント協会　会　長 殿

JEAS-CPD ガイドブックにもとづき、CPD 登録者として、CPD 記録の登録申請を下記の通り行います。

記

「JEAS-CPD 記録登録簿」　一式

・CPD 記録期間：（西暦）　年　月　日　から
（西暦）　年　月　日　まで

・別紙「CPD 記録登録簿」（様式－３）及び「同 Excel ファイル」の通り

以　上

（西暦）　年　月　日

申請者　氏　　名：

「環境アセスメント士」
登録番号：

連絡先電話番号：

メールアドレス：

※この様式は、必要に応じコピーして下さい。

(様式―3)

(/ 枚)

JEAS-CPD記録登録簿

記入年月	年(西暦)	月	
			～
			まで

氏名:

「環境アセスメント士」登録番号:

No.	CPD名称	主催者等	開始年月日 終了年月日 年(西暦)	月	日	時間	CPDの内容	実時間 ①	重み係数 ②	CPD時間 ①×②	CPD時間累計	教育分野 Ⅰ～Ⅲ	CPD形態 ①～⑦	備考
1											0			
2											0			
3											0			
4											0			
5											0			
6											0			
7											0			
8											0			
9											0			
10											0			

教育分野別のCPD時間累計

Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	合計
			0

形態区分別のCPD時間数累計

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
							0

（様式－４）

JEAS-CPD 記録　登録証明書発行願い

一般社団法人
日本環境アセスメント協会　会　長 殿

下記内容にもとづき、JEAS-CPD 記録の登録証明書の発行をお願いします。

証明書使用目的*	
証明期間	（西暦）　　年　　月　　日　から （西暦）　　年　　月　　日　まで
部　数	

（注）*印　証明書の使用先、必要理由等をお書き下さい。

（西暦）　　年　　月　　日

申請者氏名：

住　　所　：

電話番号　：

「環境アセスメント士」
登録番号　：

（様式－５）

発行番号：

発行日付：(西暦)　　年　月　日

JEAS-CPD 記録　登録証明書

「環境アセスメント士」

登録者番号：

＿＿＿＿＿＿＿＿殿

貴殿が登録された JEAS-CPD 記録は、下記の通りであることを証明します。

取得 CPD 単位: ＿＿＿＿CPD 単位

期　　間：　　年　月　日より

年　月　日まで

教育分野別 CPD 単位

教育分野	単　位
I. 共 通 分 野	
II. 専門技術分野	
III. 関連技術分野	
合　　計	

教育形態別 CPD 単位

教育形態	単　位
①　講習会等での受講	
②　論文等の発表	
③　企業内研修及び OJT	
④　技術指導	
⑤　業務経験	
⑥　委員会等への参加	
⑦　その他	
合　　計	

一般社団法人　日本環境アセスメント協会

会　　長　　印

（様式―６）

ＪＥＡＳ－ＣＰＤ届出事項変更届

一般社団法人　日本環境アセスメント協会　会長　殿

「環境アセスメント士」登録事項に変更が生じたので、下記のとおり届け出ます。

（西暦）　　年　　月　　日

〒

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

日中連絡先電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（内容確認のため連絡することがあります）

登録部門＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

登録番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

変更事項を○で囲み、内容を具体的に記入して下さい。

変更事項	１．現住所 ２．氏名 ３．所属先（会社、団体など） ４．勤務先住所 ５．その他 （　　）	変更理由：
変更点	変更前：〒 変更後：〒	
備考		

注意）登録部門、登録番号は必ず記入してください。

○郵便、又は FAX にて、（一社）日本環境アセスメント協会「資格・教育センター」まで
お送り下さい。

一般社団法人　日本環境アセスメント協会

JAPAN ASSOCIATION OF ENVIRONMENT ASSESSMENT

〒102-0092　東京都千代田区隼町２－13　　US 半蔵門ビル７F

TEL；03-3230-3583　FAX；03-3230-3876

URL；https://www.Jeas.org

「資格・教育センター」

（Qualify　&　Education　Center）

〒102-0092　東京都千代田区隼町２－13　　US 半蔵門ビル７F

TEL；03-3230-3583　FAX；03-3221-6732

E-mail；a-qec@jeas.Org　URL；https://www.Jeas.org

2021.08